



ナイタイテラス

上士幌町

地方創生総合戦略のこれまでと、
まち・ひと・しごと創生基本方針2019に向けて



道の駅かみしほろ

DMO(地域商社)の拠点・道の駅は32年春オープン
愛称 四季風路バルーンのふるさと



交通の要衝 旭川 ←→ 釧路・阿寒方面 網走・北見 ←→ 帯広方面

地方創生の目標

人口減少の歯止め

地域経済の活性化

東京一極集中の是正

地方創生 上士幌町総合戦略の達成度【KPI】(平成27年～)

■人口(暦年)

平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
2人増	31人増	71人増	12人増

計 116人増

27年度～30年度社会増226人

■東京一極集中の是正(首都圏)

平成28年	転入46人	転出9人	転入増37人
平成29年	転入41人	転出23人	転入増18人
平成30年	転入46人	転出21人	転入増25人

計 80人転入

■世帯主における若者(20代～40代)の転入者率

平成28年	若者214人 / 全世帯主254人	84.2%
平成29年	若者196人 / 全世帯主234人	83.4%

■合計特殊出生率

平成27年	平成28年	平成29年
1.53	1.67	1.70

■高齢化率上昇にストップ

平成29年4月
35.00%



平成30年4月
34.62%

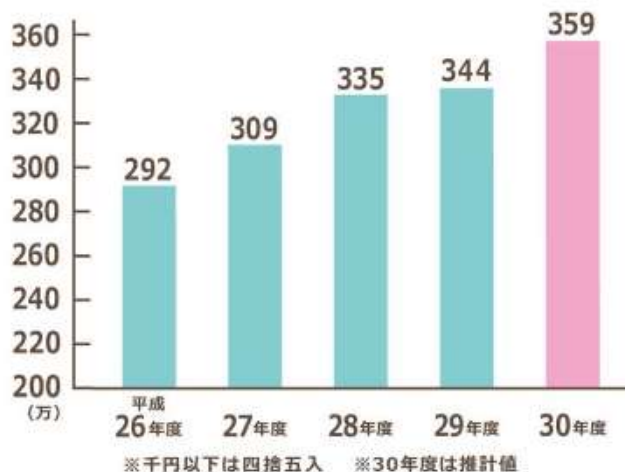


平成31年4月
34.34%

地方創生 地域経済の活性化

1. 上士幌町の平均所得の推移

※総務省発表の統計資料を基に、市町村別の課税所得の総額を納税者数で除算した額を平均所得と規定し、平均所得を算出



2. 新規企業、雇用の創出

- ・平成27年度 (株)十勝製菓
- ・平成27年度 (株)トラストバンクサテライトオフィス(コールセンター)
- ・平成29年度 (株)上士幌町資源循環センター
- ・平成29年度 (株)生涯活躍のまち かみしほろ
- ・平成30年度 (株)地域商社カーチ
- ・平成31年度 人材派遣会社営業所開設予定!

■ 上士幌町平均所得順位と所得の伸び率

	全国順位	伸び率 (26年度比)
平成26年度	475位	—
平成27年度	344位	5.8%
平成28年度	183位	15.0%
平成29年度	148位	17.8%
平成30年度	117位	22.2%

※地方創生総合戦略は平成27年度(2015年度)初年度～5力年・平成31年度(2019年度)最終年

■ 上士幌町2015年国勢調査(昼間人口)

人口	4,765人
昼間人口	5,187人(108.9%)

- ・仕事などで昼間の人口が**422人増える**。
- ・昼夜人口の均衡を図るために住宅支援対策。

【賃貸住宅建設件数】

- ・平成27年度～30年度計 115棟 248戸
- ・子育て支援住宅 43戸



人材派遣会社・アルプス技研

第2期(2020年度~2024年度) まち・ひと・しごと創生基本方針2019に向けて(上士幌町)

国の方針⇒第1期4つの基本目標を維持しつつ、必要な強化

2020年度における各分野の主要な取組

1. 地方にしごとをつくり安心して働けるようにする、これを支える人材を育て活かす

- ・「地域人材支援戦略パッケージ」等による人材の地域展開
- ・新たなビジネスモデルの構築等による地域経済の発展
- ・「海外から稼ぐ」地方創生
- ・地方創生を担う組織との協働
- ・高等学校・大学等における人材育成

2. 地方への新しいひとの流れをつくる

- ・地方への企業の本社機能移転の強化
- ・企業版ふるさと納税の活用促進による民間資金の地方還流
- ・政府関係機関の地方移転
- ・「関係人口」の創出・拡大
- ・地方公共団体への民間人材派遣
- ・地方の暮らしの情報発信の強化

3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる、誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ・個々人の^{生涯活躍のまち}希望をかなえる少子化対策
- ・女性、高齢者、障害者、外国人等が共生するまちづくり

4. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ・交流を支え、生み出す地域づくり
- ・マネジメントによる高付加価値化
- ・Society5.0の実現に向けた技術の活用
- ・スポーツ・健康まちづくりの推進

5. 連携施策等

- ・地方創生に向けた国家戦略特区制度等の推進
- ・東日本大震災の被災地域における地方創生の加速化
- ・規制改革、地方分権改革との連携
- ・国土強靱化等との連携

第2期における新たな視点

第2期(2020年度～2024年度)においては、4つの基本目標に向けた取組を実施するに当たり、新たな次の視点に重点を置いて施策を推進する。

(1) 地方へのひと・資金の流れを強化する

- ◆将来的な地方移住にもつなげる「関係人口」の創出・拡大。
- ◆企業や個人による地方への寄附・投資等を用いた地方への資金の流れの強化。

UIワーク・シェアオフィス、見

本市、逆参勤交代他

ふるさと納税

(2) 新しい時代の流れを力にする

- ◆Society5.0の実現に向けた技術の活用。
- ◆SDGsを原動力とした地方創生。
- ◆「地方から世界へ」。

AI・IoT活用、光回線整備、5G実証、エネルギー地産地消、ロボコン、自動運転バス

(3) 人材を育て活かす

- ◆地方創生の基盤をなす人材に焦点を当て、掘り起こしや育成、活躍を支援。

UIワーク・シェアオフィス、起業家養成塾、インキュベーションセンター

(4) 民間と協働する

- ◆地方公共団体に加え、NPOなどの地域づくりを担う組織や企業と連携。

(株)生涯活躍のまち、(株)カーチ、NPO法人上土幌コンシェルジュ

(5) 誰もが活躍できる地域社会をつくる

- ◆女性、高齢者、障害者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち、活躍できる地域社会を実現。

ふるさと納税少子化対策夢基金・生涯活躍生きがい基金、健康寿命の延伸と生涯活躍のまち

(6) 地域経営の視点で取り組む

- ◆地域の経済社会構造全体を俯瞰して地域をマネジメント。

MaaS(新たなモビリティサービス、スマートシティ)

「関係人口」の創出・拡大②

▶ 様々な「関係人口」に関連する取組を加速化

・プロフェッショナル人材事業

・サテライトオフィス・二地域居住



Sansan株式会社 神山ラボ(徳島)

・サテライトキャンパス



慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス

・地方創生インターンシップ



・子供の農山漁村体験



2024年度に小学生、中学生、高校生について現在の取組を倍増

▶ 総合的な情報を集約・発信する拠点を全国に展開

①特定地域との継続的な関わりを求める都市住民等の創出・拡大
 <「ファン」づくり>

②副業・兼業として地域に関わる人材の活用
 <「しごと」づくり>



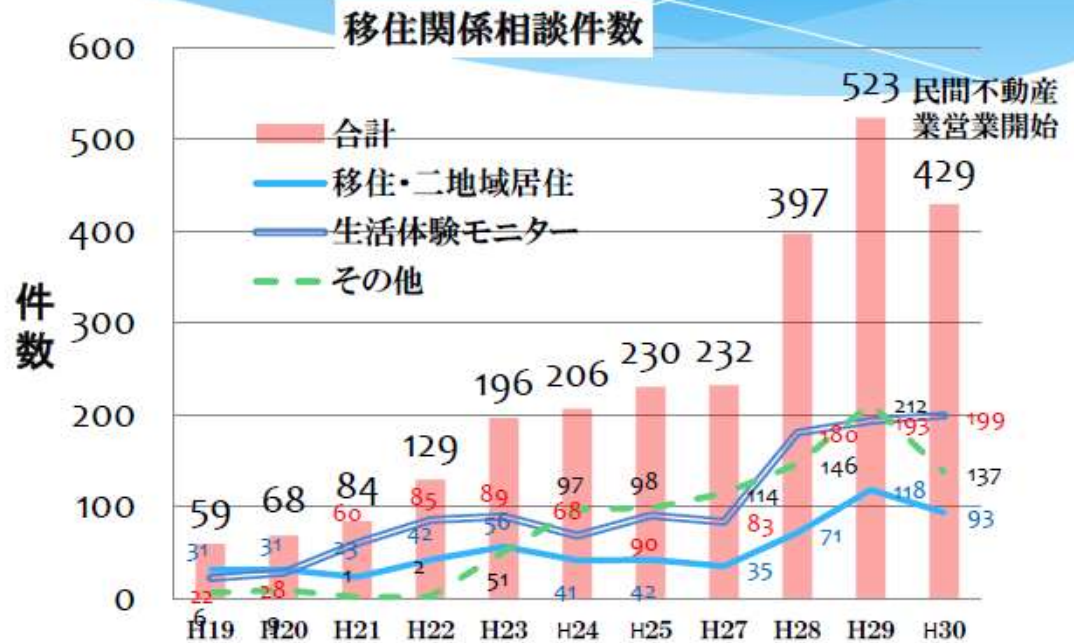
コーディネート拠点
 (関係案内所・案内人)

1. 地方への人・資金の流れを強化する 移住定住

年度	生活体験実績者数
H19	8組 15人
H20	23組 45人
H21	38組 91人
H22	32組 54人
H23	30組 57人
H24	23組 73人
H25	36組 102人
H26	37組 94名
H27	42組 83人
H28	63組 151人
H29	56組 157人
H30	56組 132人

年度	移住定住実績
H19~20	19組 39人 (3)
H21	4組 8人
H22	3組 4人
H23	5組 12人 (1)
H24	3組 7人
H25	10組 21人
H26	9組 15人 (2)
H27	6組 14人 (1)
H28	7組 13人 (2)
H29	9組 21人 (1)
H30	8組 16人
総計	83組 166人

* ()は2地域居住で8組10人



平成29年度北海道お試し暮らし
ランキング 上士幌町第2位

順位	利用者数	順位	滞在日数
1	釧路市 1,353人	1	釧路市 20,333日
2	上士幌町 132人	2	上士幌町 4,831日
3	新ひだか町 128人	3	新ひだか町 4,490日
4	浦河町 113人	4	美瑛町 4,060日
5	東川町 86人	5	浦河町 3,733日
6	栗山町 85人	6	日高町 2,381日
7	紋別市 80人	7	紋別市 2,057日
8	当別町 68人	8	当別町 1,998日
9	厚沢部町 62人	9	旭川市 1,617日
10	日高町 54人	10	深川市 1,359日

移住者が定期的に情報交換会を
開催



1. 地方へのひと・資金の流れを強化する

企業の地方移転(テレワーク等)の プラットフォームとしての機能



3フロアをウィークワークオフィスに活用 717席
4月から上士幌町が会員登録



WeWork
東京「神保町」駅(徒歩3分)

1. 地方へのひと・資金の流れを強化する

上士幌シェアオフィス構想

- 地方創生
- 企業の地方移転の入口としてのオフィス
 - ワーケーションなど働き方改革の一環として
 - 検診、仕事、リフレッシュ等、福利厚生事業として
 - 地域住民との交流で生涯活躍の場、関係人口の創出
 - 利用者(企業)の相互交流でビジネス展開



1. 地方へのひと・資金の流れを強化する

関係人口創出事業

フィールドワーク・トライアル逆参勤交代

北海道上士幌町：

大自然でリフレッシュ&地域 活性化を考える逆参勤交代



【日時】 7/26 (金) ~7/28 (日) 2泊3日

【費用】 3万円 (税別) プログラム費、宿泊費込み ※交通費別

【目的】

北海道十勝地方の北部に位置し、東京 23 区合計よりも広い面積約 700 km²を有する上士幌町。60 年以上減り続けていた人口が、ここ 3 年は増加に転じ、現在は約 5,000 人。十勝の大自然の恩恵を受けた農業、日本一広いナイタイ高原牧場や家畜ふん尿を利用したバイオガスプラントなどのフィールドワークを行いながら、多世代交流、新エネルギー、廃校跡地の活用等、町の地方創生について、参加者と地元のキーパーソンと一緒に討議し、最終日には町長向けにプランを発表します。

宿泊先は、源泉かけ流しの温泉と、十勝の新鮮な牛乳や野菜や自慢のぬかびら源泉郷「中村屋」になります。

【お申込み先】

主催旅行：株式会社ウインド

総合旅行業務取扱管理者：小澤 多恵 東京都知事登録旅行業 2-5523 号

フィールドワーク費用のお振込先は別途連絡

プログラム

上士幌町の課題・テーマ (案)

- (1) シェアオフィスの活用、企業と連携した現役世代の移住促進
- (2) バイオガスプラントの廃熱利用、廃校跡地の利活用

7月26日 (金)	7:55 羽田空港発 JAL573 便
	9:30 帯広空港着 ※AIRDO は 6:55 → 8:25
	11:00 上士幌町着 オリエンテーション
	11:45 Uターン移住者が開業したイタリアンレストランで昼食
	12:45 地域の魅力と課題発見フィールドワーク① (視察候補地) ナイタイ高原牧場、上音更バイオガスプラント (外観のみ)、上音更小学校跡地、移住体験住宅 (旧上音更小学校教員住宅)、町認定こども園 (10年間無料化)
	15:00 移住者との意見交換 【候補移住者】 ①認定こども園に配置している国際交流推進員 (米国人女性、日本語堪能) ②東京から移住し、デザイン業で起業したご夫婦 (夫婦ともに元アパレル業界、子供2人) ③高齢者の健康を支援する運動教室を展開する NPO 本部長 (ご家族で移住し、町の子育て支援住宅に入居。子供2人)
	17:00 地域課題の整理、明確化
	18:00 ぬかびら源泉郷「中村屋」着
7月27日 (土)	8:00 課題解決フィールドワーク② 農業法人ドリームヒルにてロータリーバーラー、バイオガスプラント、廃熱を利用した栽培ハウスの視察、役場の新エネルギー担当職員からの取り組み説明
	12:00 ふるさと納税型クラウドファンディングにより資金を調達し、開業したそば屋で昼食
	13:00 課題解決フィールドワーク③ 上士幌シェアオフィスの建設予定地を視察、役場担当職員からの取り組み説明
	14:00 課題解決プラン討議 (時間があれば、生涯活躍かみしほろ塾を1コマ受講)
	18:00 ぬかびら源泉郷「中村屋」着



2018.11.25 SUN 10:00-16:00 東京プリンスホテル2階
〒105-8560 東京都港区芝公園3-3-1

ふるさと納税大感謝祭

<p>ナイタイ和牛のひとくちハンバーグ ナイタイ和牛のもも焼肉 十勝ハーブ牛のローストビーフ</p> <p><small>※焼肉、ローストビーフはどちらかを選択していただきます。</small></p> 	<p>あけぼの農場のフライドポテト パン屋「トカトカ」のバケット しんむら牧場のミルクジャム& 十勝農産物のハチミツ付き</p> 	<p>アイス工房ドリームスのジェラート 高木牧場のアイスクリーム</p> <p><small>※ジェラート、アイスクリームはどちらかを選択していただきます。</small></p> 	<p>よつ葉の牛乳 豆焼酎「豆ほろり」</p> <p><small>※大豆焼酎の豆は、豆焼酎ではありません。</small></p> 
---	---	--	--

※内容は変更になる場合があります。

かみしほろ塾 -satellite-


11:30~12:30
増田 寛也氏 × 黒井 亮行氏 × 竹中町長
パネルディスカッション





増田 寛也氏 黒井 亮行氏 竹中町長

13:00~13:30
『東京から上土幌へ
～明るく送迎労働交代の可能性』



松田 智生氏

仕事発見・暮らし相談

- 仕事発見・起業相談ブース
《農業・林業・建設業・観光産業紹介所・起業支援》
- 特住・住まいの相談ブース
《お話し暮らし・空き家・賃貸住宅などのご紹介》
- 先輩移住者（ファミリー）子育て相談ブース
《先輩移住者の1週間・子育て相談や支援制度など》
- 生涯学習のまち かみしほろブース
《かみしほろ塾・地域包括ケアのご紹介》
- 上土幌市の暮らしの取り組み
《自動運転バスの展示・バイオガス発電のご紹介》

上土幌の観光・体験

- アーク牧場の手作りアイス・ソフトクリーム作り
【所要：50分・6名様】
- 十勝産品加工体験ワークショップ
【所要：10分・20名まで・10名様】
- まっぴーいりあふりんぐ体験
【所要：50分・6名様】
- みずのくさし体験コース
【所要：50分・6名様】
- 《道のミスト体験、100周年ポストカードプレゼントなど》
- 体験予約で「上土幌産品入浴剤」プレゼント！

プレゼント企画

会場完全無償
上土幌物オリジナルデザイン
ノートバッグをプレゼント！



1. 地方へのひと・資金の流れを強化する
ふるさと納税者対象に 関係人口の構築

3. 人材を育て活かす 起業家養成塾



新規起業者を支援するインキュベーションセンター「はれた」まちづくり会社が管理運営。松井基金活用

松井氏の寄付金で、「インキュベーションセンター」を8月開設

塾長に就任し、寄付を贈呈した松井利夫会長(左)



地方創生の担い手組織との協働

- 地域において地方創生の担い手組織が増加。一方、地域再生法に基づき地方公共団体が指定している地域再生推進法人は全国で20法人(平成30年3月末内閣府調査)のみ。
- 様々な取組を行う組織を、①取組内容等に応じて類型化した上見える化、②全国的なネットワークの構築によるノウハウの横展開を可能にすることで、地方創生を担う組織・人材を更に増大。

地方創生の担い手組織(例)

事例1(地域商社) 有限会社 漂流岡山



出典：有限会社漂流岡山

地域密着型の「コンパクト型地域商社」の活動を通じて農業の計画生産化、所得の向上・安定、若手農家の事業化を支援。

同時に近畿・中国地方への取組の横展開の支援にも注力。滋賀で立ち上げた地域商社(㈱東近江あぐりステーション)は年商6億円規模まで成長。

事例2(起業支援) NPO法人 おっちLABO



出典：NPO法人おっちLABO

雲南市が開講した次世代育成事業「幸雲南塾」の卒業生が中心となり、若者の起業や地域活動を支援するNPOを設立。

「幸雲南塾」の取組では、全国各地の起業家からノウハウを学ぶケーススタディや、ネットワークとビジネススキルをもつ「コーディネーター」による伴走支援等を通じて、地域課題解決に向けた起業等を支援。

事例3(移住支援) NPO法人Totie



出典：NPO法人Totie

出典：小豆島町

小豆島住民と将来の小豆島住民に対して、空き家の改修・補助や移住・定住に関する事業を行い、U/Iターン者の増加、地域活性化に寄与することを目的とし設立。

移住体験施設の運営・移住者交流会や島ぐらしイベントの開催・行政と連携した空き家バンクのサポートなど、移住希望者と地域住民をつなぐ活動を展開。

4. 民間との協働 官民共同出資会社

株式会社karch事業内容

プロモーション事業

本町の観光資源を活用し、メディア戦略、撮影協力、集客企画やイベントなどのプロモーションを行います。継続的に取り組むことで、集客を促し、常に上土幌町を広く発信していきます。

- 各種メディア対応
- 広報活動

イベント開催

町の素材を活かし、町民が町の魅力を伝える場をつくります。

- 連携したイベント開催の検討
- 拠点施設でのイベント開催

連携事業

町、JA、商工会、観光協会等との多様な連携を企画し、イベントなどを行う事業です。それぞれの組織団体が連携することで効果が期待できる事業を立ち上げます。

- 町内各団体との連携
- 広域連携の検討

電力小売業

エネルギーの活用を行うため、会社の役割の一つとして電力小売事業について調査研究し、バイオガスプラントで発電された電力を販売、供給できるように進めます。事業実施により畜産バイオマスを核とした資源循環、エネルギー地産地消のまちづくりによる地域発展が期待されます。

- 循環型エネルギーの検討
- 電力小売販売検討

旅行業

農泊・民泊などの宿泊型体験商品を強化し、町全体を商品化するという目標を持ち、まちづくりの核になる事業に育てます。そのために旅行業登録をし、販路をつくります。

- 旅行業登録
- 旅行商品造成・販売

体験型観光

ガイドやコーディネーターなどの仕事を町民の方々に担っていただけるように育成にも取り組み、言語対応を含めた体験メニューの商品化を目指します。

- 体験型観光メニューの造成
- 人材育成

宿泊業

観光における収益の源泉は宿泊数と滞在時間にあり、町全体の観光振興策において不可欠な事業です。宿泊体験型の商品開発とともに、農泊・民泊の窓口として受け入れ態勢の整備やサービスレベルの向上を共に目指していきます。

- 宿泊施設の検討
- 農泊、民泊の受け入れ

商品開発

地域の食資源を中心に研究、企画を行います。マーケティングに基づいた商品化と、多様な販路に対応した販売力を構築します。

- 地域資源を活用した特産品開発・商品化の検討

DMO・観光戦略

中長期的な町の観光の計画を立て、戦略をもって観光による町づくりに取り組みます。また、国が進める観光立国による地方の活性化を上土幌町でも推し進めるためにDMO法人への登録を目指します。

- 観光基本計画・戦略の策定支援
- DMO候補法人登録

官民連携の株式会社

